

# 平成28年度第1回根室市市政モニター会議【記録】

1. 日 時 平成28年7月28日（木）午後6時30分～午後8時00分

2. 場 所 根室市役所 3階 大会議室

3. 出席者 【市政モニター】 13名

【市 側】 4名

総務部長、総務課長、広報広聴主査、広報広聴担当

【会議進行】総務部長

【司 会】総務課長

## 4. 開会挨拶（市長）

本日は、平成28年度、第1回市政モニター会議に、夜間の開催にも関わらずご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より、市政の推進に対しまして、格別なるご理解とご協力をいただいておりますことに対し、この場を借りてお礼申し上げます。

この会議は、広く市民皆様のご意見やご提言をいただくため、毎年開催しているもので、本年度は16名の方々をモニターとして委嘱させていただきました。今年度末までの委嘱期間内、数回の市政モニター会議の開催を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

さて、全国的にも本格的な人口減少時代を迎え、我がまち根室におきましても、その状況は顕著であり、65歳以上の高齢者の方々が全体の3割を超え、増加傾向にある一方、年少人口、生産年齢人口は年々減少するという状況となっており、地域社会においてもさまざまな課題が生じているところであります。

そうした人口問題をはじめ、ロシア200海里の流し網禁止問題や、市中経済の活性化問題など様々な課題が山積しておりますが、こうした困難に直面する今だからこそ、市民協働を推進し、市民と行政がともに考え、協力して、まちづくりを進めていくことが重要と考えております。

本会議は、根室市の主役である市民の皆さんの声を市政に反映することが目的であります。出された意見・提言等につきましては、今後の市政運営の参考とさせていただきたいと考えておりますので、モニターの皆様には、是非とも忌憚のないご意見・ご提言をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願い申し上げます。（※市長は挨拶後退席）

## 5. 今回の会議開催方法について（事務局より説明）

本日の、会議ではまず会議の進行、意見のまとめ役をする座長を1名選出していただきたい。その上で、配布資料をもとに、今年度のテーマについて自分の意見を発表し、出された意見は座長を中心にまとめ、議論するテーマを3つ程度に絞っていただきたい。

## 6. 以下、会議詳細

### ◎座長

座長を務めさせていただき、不慣れではあるが、皆さんのご協力をいただき進めてまいりたい。本日の会議の目的は、今年度議論するテーマを選ぶことである。次回は、そのテーマを掘り下げ、市に対しての意見、提言をまとめたい。

本日は、市の取組みに対する質問や疑問ではなく、アイデアや改善点などを中心に発表いただきたい。事前に提出いただいたテーマ選定調査票をもとに作成した資料を配布しているので、この資料に基づき、一人、3分程度で「テーマを選定した理由」と「改善方法やアイデア」などを発表いただきたい。

### ○モニター

教育文化について提案させていただく。現在、子どもを育てている最中で、小学二年生の長女と一歳児がいる。根室でずっと育てていて保育所に通わせていた。根室の方は親切な人が多く子育てするにはとてもいい環境。子どもの同級生の保護者と小中高校等の進学先の話をする機会がよくある。高校まではできるだけ親元で育てたいので、根室にいても進学に繋がるような全国レベルの教育を望む。大学進学までの教育が充実していれば、根室は自然環境も素晴らしいし、この先根室に住んでいても子育てに何も心配ないと考えており、是非、学力レベルの向上について力を入れて取り組んでいただきたい。

### ○モニター

自分自身、スポーツをやっており、青少年センターや市営球場等の施設の老朽化が心配。特に市営球場の状態はひどく、数年に一度、全道規模の野球大会等が根室で開催されているが、各地から来た人は、こんな施設は見たことが無いと酷評していく。フェンスも老朽、外野の草も刈り取られておらず、将来的な面も含め、施設管理のあり方をどう考えているのか聞いてみたい。具体的なアイデアとしては、建替が厳しいのであれば、隣接する高校のグラウンド等、既存の施設を利用できるようにする等の対応をしていただきたい。

### ○モニター

小学校が雨漏りした、屋根がはがれた等の新聞記事を見た。根室は地震も多く、子どもを通わせている家庭は学校の老朽化や耐震化が心配。市が力を入れているふるさと納税の一部を教育関連（子育て）に当てて欲しいと考えており、テーマに選定してはどうか。

### ◎座長

ふるさと納税はどのように使われるのか決まっているのか。

### ●総務部長

平成27年度のふるさと納税額は約12億9千万円で、その内の約半分が返礼品に関わる事務経費などに充てられている。残りの約6億円が市の財源として活用でき、平成27年度と平成28年度の市の事業予算に各半分3億円ずつに分けて財源措置をした。市の総合計画に基づき、大まかに3つのプロジェクトにわけて公表し、納税者にどの事業に充ててほしいか決めてもらっている。そのプロジェクトの中のひとつに子育て関連事業が含まれており、平成27年度、平成

28年度については2ヵ年で約1億4,000万円が子育て関連事業に充てられる。平成28年度のふるさと納税額は昨年度を超える勢いで推移しており、平成28年度にいただいた寄附金は全て平成29年度にあてられる可能性があるため、3つのプロジェクトの関連事業に厚く財源充当できれば、その一つである子育て事業関連にもさらに厚く充当できると考えている。

#### ○モニター

老人福祉センターで民謡を教えているが、受講者の方から「バスの便数がなくて通いたくても通えない」と言う話をよく耳にする。高齢化が進んでいる中、外に出る元気な高齢者がたくさんいてほしいと思うが、バスの便が悪いと家から出づらくなる。以前、新車を買ったばかりの頃、福祉センターで80歳の男性に車をぶつけられた。その男性は、さらに他の車にもぶつけており、免許を返上するものと思っていたが、数週間後にその男性がまた車に乗っていて驚いた。80歳を過ぎてても車を離せないのはバスの便が悪いからではないか。以前は高齢者の無料バス券があったが、現在は100円の自費負担になった。それでも高齢者はありがたいことだと言っている。しかし、ダイヤ改正するたびにバスの便がどんどん不便になってくる。受講者の中には、バスを乗り継いで来ている人もいる。さらには、乗り継いできても間に合う便がないのでタクシーを使う方もいる。なんとか便数増や便の見直しをバス会社に申入れしてほしい。

#### ○モニター

昨年、市の基幹産業であったサケマス200海里水域の流し網漁業が終わった。自分の会社もその影響を受けた当事者の1つだ。市の経済を良くしていかないと雇用が減り、働く場所がなくなれば人口が減り、施設等は老朽化も伴い廃止されていく。ふるさと納税だけで喜んでいる場合ではなく、財源がなくては行政運営、教育、文化、福祉、自然環境保護等なにもできない。

#### ○モニター

市立根室病院は年間20億円もの赤字となっているが、病院を新築する際に療養病棟を作らなかったことが一つの要因ではないか。療養病棟があれば、現在は需要もあり、赤字も減らせたのではないか。市立根室病院に療養型病棟がないため、行き場のない高齢患者が精神異常でもないのに精神科病棟に移されている。このような方々が安心して療養できる場所を作るべきであり、療養型病棟への転換を考えるべきだと思った。また、赤字経営の話とは別だが、市立病院の玄関が大変危険に思う。屋根と柱があるせいで車の死角になり子どもが危ない。撤去してはどうか。

#### ○モニター

自分は島民2世で両親が元島民。両親は以前、島に行きたいと言っていたこともあったが、高齢になり今は諦めムード。特に今の若者（特に30代～40代）の関心が薄くなっているのではないか。返還要求運動の参加率も減っている。

#### ◎座長

確かにそのように思う。若者向けの出前講座等も行っているが、北方領土に対する国民全体の意識が薄くなっていると感じている。

#### ○モニター

根室市の自然は大事な観光資源となっていて、ネイチャークルーズやバードウォッチング、フットパス等さまざまな観光イベントが盛り上がって来ているが、市民はそのような活動があることを知っているのか疑問に思っている。自分は落石から通勤しているが、市街地のごみのポイ捨てが目立つ。根室市の自然を目当てに来ている観光客がそれを見るとがっかりするのではないか。自然の豊かさをウリにしているのに、一部の市民には大事な自然を守るという意識が低いのではないか。市としてもっと市民に対して大事な観光資源である自然を守ると意識付けをしていく取り組みを行うべきではないか。

#### ○モニター

一番大きい問題は人口減だと思う。広報ねむろの裏表紙を見ると昨年との人口の比較が出ているが、昭和48年の49,896人から49年間でどんどん減ってきている。若者の雇用をいかに創出していくかが重要だと思う。現在、高齢化率が31.5%で女性の方が多いが、平成生まれに限ると女性は男性より少ない状況となっている。つまりは、若い女性の数が少なく、出産年齢の女性が少ないということであり、このことは人口減につながる。小中学校も児童生徒数が減り、空き教室、学校統合など教育に関する様々な問題も出てくる。今ある中で、コンパクトに若者の雇用創出の場を作って、産業年齢を保持しながら人材育成をしていく必要がある。それが教育文化、医療福祉など全てにつながるのだと思う。

#### ○モニター

自分は水産会社を経営しているが、歴史から見ても根室は水産資源がなくなってきている。似たような状況の江差や八戸等を見てきたが、環境を変えていかなければ衰退していくし、環境を変えればまた盛り返していく。特に八戸は一時期水産資源がなくなったが、みんなで漁業を規整し、資源を増やしていこうと取り組んでいる。産業経済も、水産業、商工、農産業等が一体となって取り組んでいる。根室市においては、観光・雇用人口の増加について考えると近年、移住者が新しく出店したり、若者が事業を興したりということが増えてきている。こういったところをのばしていったらどうか。観光においても、バードウォッチングやチャシ群等、我々があたりまえに思っていた自然が日本や海外で注目されて観光名所となったりしている。だが、根室市民にはあまり注目されていることを自覚していない人が多いように思う。このことが原因で産業も発展しないのではないか。水産の町として水産振興の発展ももちろん大事だが、同時に新しい産業として芽生えているものもどんだのばしていくことが産業振興に繋がるのではないか。

#### ○モニター

市の公表では集まったふるさと納税が大きく3つの関連事業につかわれるとなっているが、具体的にどのようにつかわれるのか、いまいわかりづらい。自分が知っているのは、新体育館建設の積立に1億円、爆弾低気圧で損壊した春国岱の補修に使われたことくらいだ。もっと詳しく市民に公表するべきだ。

根室市は、水産業、酪農業について第3の産業として観光事業を打ち出したがさっぱりだ。風蓮湖や春国岱を中心としたバードウォッチングは海外からも観光客がきているが、市民にはあまり知名度がない。根室の自然を見に来る観光客は益々増えていくことが予想されるので、新しいものをつくるというよりは、早急に観光名所の整備を優先するべきだ。根室は北海道3県といわ

れるほどすばらしい歴史がたくさんある町なのに、資料館や博物館が少なすぎるのではないか。あっても、観光客はまばらにしか来ない。観光客をよべる材料がたくさんあるので、もう少し活用できないのか。なにかと予算がないというのであれば、ふるさと納税を活用してはどうか。

#### ●総務部長

平成27年度根室市ふるさと応援寄付活用一覧という冊子をつくっている。納税者の中で名前を公表していいという方の名簿を載せており、市長の感謝コメントや、ふるさと納税で活用させていただいたさまざまな事業内容も詳しく載っている。新聞報道にも、定例記者懇談会の中で、寄付者に対するお礼も含めて公表周知している。ただ、市民の皆さんにはなかなか活用内容を公表していることが周知されていないとのことで、市の対応としても改善の余地があると思う。担当課と再度協議していきたいと思う。

2回目以降の市政モニターに間に合うように委員のみなさんに冊子を配りたい。ただ、納税者の方にはこういった事業に使わせて頂くと公表し、それに賛同して納税してもらっているので、勝手に活用目的を変えられない。周知している事業内容に合致するものであれば、活用していきたい。

#### ○モニター

子どもを持つ身として、根室市で子育てするにあたって不安を抱いている。子どもの数が減り、だんだんと学校も統廃合されていく中で、根室市として今後どのような教育を行えるのか。根室市は文化や歴史、農業・漁業等自然を切り離せない街だが、もっとそのような自然環境をPRすること、自然の大切さを学んでいく場をつくる必要がある。学校では総合学習等があるが、子どもや大人までも知らないことがたくさんあり、学習時間が足りてないように思う。私は移住者で、自然環境に関する仕事をしていて、バードウォッチング等にも携わったことがあるが、自然や歴史等について市外の方のほうが詳しく、地域の方が知らないことが非常に多いように感じる。地元の人たちがきちんと理解して誇りを持ち、子どもたちにも伝えていけば、進学等で市外に出た子どもたちも地元に戻ってきてくれるようになるのではないか。根室の文化・自然・観光等について誇りを持てる教育を望む。まわりの親からは室内で遊べる場所がほしいという意見を聞く。廃校になった学校の体育館を活用してはどうか。そこでボランティアやお年寄りの方々に自然や文化のこと等について話をしてもらったり、自然探索を試みたり等できるといいと思う。

#### ◎座長

様々な意見をいただいた。いただいた意見から3本程度にテーマを絞っていきたい。テーマの選定は皆さんの総意ということで決めたい。

#### ●総務部長

市の立場としてではなく、この会議で一緒に意見交換をしている一人として話したいと思う。これまでの意見を聞いていて、全てのことがつながっている感じがしている。そのうえで、産業振興、観光振興、雇用、若年者定住につながり、それぞれ単体ではなく融合してそれぞれに波及させて、密接な関係がある気がする。

住んでいる我々市民が知らないことが多いという問題提起もあり、産業がなりたたないと医療福祉、教育の充実もままならないという意見もあったが、そのとおりだと思う。今、それがなん

となく全体をひとくりにできそうな気がする。これまで皆さんは課題と問題提起ということで整理されていると思うが、これに対してどういう手を打てばよいのかといった提言段階に、そういったテーマで入れるのかと思っている。

○モニター

それぞれに意見は違っても、根底はどうすれば住みよい活力あるまちづくりができるかということで皆の意見は共通していると思う。

●総務部長

先ほど、具体的に療養型病棟への転換の話もしたが、そういった具体性のある意見をテーマとして残すのも良いと思う。ふくらませてひとつのテーマとすることができると思う。

○モニター

テーマ選定結果の一覧を見ると、医療福祉、教育文化とか我々が生活していく中で大切なことをひとくくりとし、自然や産業や観光など人の営みの中で必要なことをひとくくりとし、最後に、根室市民が根室の良さを知らないという話がでていたので、根室のことをいかにうまく周知して行くのかという3つで整理してはどうか。

○モニター

根室市が今後、どういったまちにしていきたいのかビジョンがよく見えない。ただこれからは水産ではないと思う。新たなまちづくりをしておかなくては、根室は無くなってしまう。

外国人や地方からの移住者と接する機会があり、地域に住んでいるとわからないことを地方から来た人には新鮮に見えるという。そういう部分でも日本にこだわらなく世界的にどこと繋がりをもてるのか。壮大かもしれないがそういうことも視野に入れてまちづくりをしていかないと、これからは順応できないのかと思う。問題が起きてから議論しても、良いものはできない。たかさんの計画を持ち、そのなかから問題がでてきたときに選択できるようなテーマ作りをしたほうがよいとおもう。

一番はやはり人口減。なぜ人口減になっているのか。なぜ出て行った人が戻ってこないのか。原状としては高齢が根室から出て行きはじめている。そういった部分で、人口減の歯止めをするためには、これまで根室市がやっていない新たな方法の模索がよいのではないかと思っている。ものづくりなどの分野でも、住んでいる人が胸を張って発信できることがあれば良いと思うので、そういう部分でも、水産のまちから違うまちに根室市が復活できるようなテーマを考えていったほうがよいのでは。

○モニター

私は、出された意見は大きく二つになっていると思う。一つ目は地域の資源（水産物、農産物、自然等）を生かした活力あるまちづくり。もう一つは、医療や教育の充実など、安心で安全で生活出来るまちづくり。それぞれに意見は違ってもこの部分では一致していると思う。本日出た色々な意見を融合しながら、産業経済を中心に、今の現状を見つめながら地域資源を生かしたまちづくりと、教育、文化、医療を含めた安心で安全で生活出来るまちづくりという観点でテーマを選定すればよいのではないか。

○モニター

子供が5人いたが、全員が大学進学後、根室から出て行った。根室で就職するとしたら市役所か銀行。ちょっと前なら漁業関係も良かったが、今はあてにならない。みんな帰って来なかった。長女は嫁いだが病院に婦人科がないので帰ってこないでと頼んだ。突然、産気づいても対応に困る。そういうことも根室に若い人が帰ってこない原因の一つだと思う。あと教育問題だが、高校に働きかけて小学校の夏休みの間、勉強を見てあげるとかできないだろうか。そうすることにより、一緒に根室に住んでいる者同士、親近感も沸くし、結束が強まると思う。

○モニター

テーマを何にするかという面から皆さんの話を聞いていて、自然環境、観光問題などについて興味がわいた。根室は自分達が住んでいて知らない素晴らしいまちだということや、地方から来た人から見ても良いまちだということについては可能性があり、その可能性にかけてみたいと思った。根室に人を呼ぶためにオートキャンプ場を作るなども、ひとつのアイデアではないかと思う。

◎座長

なかなかテーマをまとめきれないので、一度、事務局で今日出た意見をまとめ、改めて次回会議で議論を深めていきたいと思う。本日の会議はこれで終了させていただく。

8. 閉 会